

【別添資料2-1-①-1】

平成24年度大学院学生募集要項等の主な配布先

送 付 先	機関数	学生募集要項
文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室	1	1
高等教育局大学振興課教員養成企画室	1	1
高等教育局国立大学法人支援課	1	1
全国国公立幼稚園長会	1	5
全日本私立幼稚園連合会	1	5
全国連合小学校長会	1	5
全日本中学校長会	1	5
全国高等学校長協会	1	5
全国公立短期大学協会	1	5
全国専修学校各種学校総連合会	1	5
専修学校教育振興会	1	5
独立行政法人教員研修センター	1	20
独立行政法人国立特殊教育総合研究所	1	20
独立行政法人国立女性教育会館	1	20
独立行政法人国立青少年教育振興機構各施設	28	28
新潟県教育委員会・教育事務所	6	60
都道府県教育委員会・教育センター	50	280
都道府県教育事務所	272	544
政令指定都市教育委員会	19	95
都道府県・政令指定都市教育センター	64	136
国立大学	88	176
公立大学	76	152
私立大学	568	1,136
兵庫教育大学、鳴門教育大学	2	30
報道機関(上越記者クラブ等)	20	20
小 計	1,207	2,760

【別添資料2-1-①-2】

平成23年度 大学院説明会等の開催状況

1 大学院説明会

開催日	会場	参加者数	備考
5月21日（土）	上越 （本学講202ほか）	55	
6月4日（土）	東京 （サンシャインシティ文化会館）	55	
9月24日（土）	上越 （本学講202ほか）	38	
合 計		148	

2 大学院入学相談会

開催日	会場	参加者数	備考
5月28日（土）	福岡 （福岡朝日ビル）	3	
6月11日（土）	新潟 （本学新潟サテライト）	17	
6月18日（土）	大阪 （キャンパス・イノベーションセンター大阪）	4	本年度新規
6月19日（日）	名古屋 （Time Office 名駅）	9	本年度新規
7月3日（日）	東京 （本学東京サテライトオフィス）	24	
9月10日（土）	東京 （表参道・新潟館ネスパス）	18	
10月8日（土）	新潟 （本学新潟サテライト）	2	本年度新規
10月8日（土）	東京 （本学東京サテライトオフィス）	25	本年度新規
合 計		102	

3 大学院コース別入学相談会

開催日	会場	参加者数	備考
9月23日（金）	東京 （本学東京サテライトオフィス）	8	
1月21日（土）	東京 （本学東京サテライトオフィス）	8	
合 計		16	

平成23年度
上越教育大学大学院説明会

- 日 時 平成23年5月21日(土) 13:00~16:00
- 場 所 上越教育大学 第2講義棟202室ほか
- 内 容
- 1 大学院の概要説明
 - 2 平成24年度入試
 - 3 現役大学院生の体験談発表
 - 4 各コース(科目群)等別の個別相談・質疑応答
及び施設見学(附属図書館・学生宿舎)

配付資料

- No.1 大学院案内
- No.2 大学院学生募集要項(出願書類含む)
- No.3 教職大学院案内
- No.4 大学院学生募集・大学院説明会開催リーフレット
- No.5 教職大学院学生募集リーフレット
- No.6 J U E N -上越教育大学学園だより- (第18号)
- No.7 上越市観光ガイド

「大学院説明会」アンケート

【別添資料2-1-①-3】

平成23年度 大学院説明会アンケート実施結果(抜粋)

合 計	アンケート回収数 121枚 / 説明会参加者数 148人 (回収率: 81.8%)				
(内訳)	平成23年5月21日(土) 上越教育大会会場	アンケート回収数 41枚	／	説明会参加者数 55人	
	平成23年 6月 4日(土) サンシャイン文化会館会場	アンケート回収数 50枚	／	説明会参加者数 55人	
	平成23年9月24日(土) 上越教育大会会場	アンケート回収数 30枚	／	説明会参加者数 38人	

※前年度の状況 アンケート回収数218枚／説明会参加者数237人(回収率92.0%)<参加者:5月93人6月74人9月70人>
 前々年度の状況 アンケート回収数150枚／説明会参加者数178人(回収率84.3%)<参加者:5月75人5月56人9月47人>

1. 職業等をお尋ねします。当てはまるところに○を付けてください。

区 分	今 回	前 年 度		増 減 数
		割 合	割 合	
大学生	88人	72.7%	145人 66.5%	-57
現職教員	11人	9.1%	29人 13.3%	-18
教員以外の有職者	11人	9.1%	34人 15.6%	-23
その他	11人	9.1%	9人 4.1%	2
未記入	0人	0.0%	1人 0.5%	-1
合 計	121人	100.0%	218人 100.0%	-97

7. 本学大学院のアドミッションポリシー(入学者受入方針)について、どのような印象を持たれましたか。当てはまるものに○を付けてください。

区 分	今 回	前 年 度		増 減 数
		割 合	割 合	
よく理解できた	63人	52.9%	116人 53.2%	-53
一応理解できた	53人	44.5%	93人 42.7%	-40
あまり良く理解できなかった	2人	1.7%	1人 0.5%	1
未記入	1人	0.8%	8人 3.7%	-7
合 計	119人	—	218人 —	-99

(出典:平成23年度大学院説明会アンケート実施結果)

【別添資料 2 - 2 - ① - 1】

平成25年度大学院学校教育研究科学生募集要項（抜粋）

7 入試方法

(1) 入学者の選抜は、次の方法により行います。

- ① 筆記試験
- ② 口述試験

(2) 所属する都道府県教育委員会等から派遣教員(注1)として同意を受け出願する者及び教職経験者(注2)には、修士課程の「臨床心理学コース」を志望する者を除き、筆記試験を課しません。

(3) 機関長（学長又は学部長等）から推薦を受け出願する者（以下(4)では「機関長推薦により出願する者」という。）には、修士課程の一部のコース（科目群）及び専門職学位課程（教職大学院）を志望する者を除き、筆記試験を課しません。（詳細は、17ページの「機関長（学長又は学部長等）の推薦を受け出願する者に対する筆記試験免除制度」を参照してください。）

(4) 筆記試験及び口述試験の配点は次のとおりです。

修士課程						
試 験 区 分			筆記試験	口述試験	計	
学校教育専攻	学校臨床 研究コース	学習臨床 研究	派遣教員・教職経験者 上 記 以 外	— 300点	500点 200点	500点
		生徒指導総合 ・学校心理	派遣教員・教職経験者 上 記 以 外	— 300点	500点 200点	
			臨床心理学コース	機関長推薦により出願する者 上 記 以 外	— 300点	
	幼児教育コース		派遣教員・教職経験者 機関長推薦により出願する者 上 記 以 外	— 200点	500点 300点	
	特別支援教育コース		派遣教員・教職経験者 上 記 以 外	— 200点	500点 300点	
	教科・領域 教育専攻	言語系 コース	国 語	派遣教員・教職経験者 機関長推薦により出願する者 上 記 以 外	— 200点	
英 語				派遣教員・教職経験者 上 記 以 外	— 300点	500点 200点
社会系コース			派遣教員・教職経験者 上 記 以 外	— 300点	500点 200点	
自然系 コース		数 学	派遣教員・教職経験者 上 記 以 外	— 200点	500点 300点	
		理 科	派遣教員・教職経験者 機関長推薦により出願する者 上 記 以 外	— 200点	500点 300点	
芸術系 コース			音 楽	派遣教員・教職経験者 機関長推薦により出願する者 上 記 以 外	— 300点	500点 200点
		美 術		派遣教員・教職経験者 機関長推薦により出願する者 上 記 以 外	— 200点	500点 300点

試 験 区 分			筆記試験	口述試験	計	
教科・領域 教育専攻	生活・ 健康系 コース	保健体育	派遣教員・教職経験者 機関長推薦により出願する者	—	500点	500点
			上記以外	200点	300点	
		技 術	派遣教員・教職経験者 機関長推薦により出願する者	—	500点	
			上記以外	300点	200点	
	家 庭	派遣教員・教職経験者 機関長推薦により出願する者	—	500点		
		上記以外	200点	300点		
	学校ヘル スケア	派遣教員・教職経験者 機関長推薦により出願する者	—	500点		
		上記以外	200点	300点		
専門職学位課程（教職大学院）						
試 験 区 分			筆記試験	口述試験	計	
教育実践 高度化専攻	教育実践リーダー コース	派遣教員・教職経験者	—	500点	500点	
		上記以外	300点	200点		
	学校運営リーダー コース	全 員	—	500点		

(注1) 「派遣教員」とは、所属する都道府県教育委員会又は政令指定都市教育委員会から現職のまま「同意」を受け出願する者をいいます。

(注2) 「教職経験者」とは、初等中等教育における3年以上（平成25年4月1日現在）の教職経験を有する者をいいます。なお、教職経験については次の期間を含みます。

ア 非常勤の職については、勤務形態が常勤の職員と同等である期間

イ 幼児教育コースにおいては、保育所（無認可のものを除く。）の保育士として勤務した期間

ウ 特別支援教育コースにおいては、施設・医療機関・教育訓練機関等において障害児・者に関わる支援・指導等に職員（勤務形態が常勤の職員と同等である非常勤の職を含む。）として従事した期間

(注3) 「機関長推薦により出願する者」とは、17ページの「機関長（学長又は学部長等）の推薦を受け出願する者に対する筆記試験免除制度」により出願する者をいいます。

(注4) 学校臨床研究コース（生徒指導総合・学校心理）の試験区分で受験し合格した者は、入学後に希望に基づき生徒指導総合又は学校心理のいずれかに所属することになります。なお、筆記試験で解答する領域は、必ずしも入学後の所属と一致している必要はありません。

8 筆記試験及び口述試験の概要

(1) 筆記試験

修士課程		
専攻・コース	内 容	留 意 事 項
学 校 教 育 専 攻	学習臨床研究 学校教育の実践にかかわる小論文 【ただし、派遣教員(注1)・教職経験者(注2)には筆記試験を課さない。】	教育方法臨床領域、学習過程臨床領域、情報教育領域、総合学習領域の4領域から1領域の問題を選択し、1,200字程度で解答する。
	学校臨床研究コース 生徒指導総合・学校心理(注4) 1 学校心理領域 （児童生徒の学習と発達の心理的側面に関すること） 2 生徒指導相談領域 （児童生徒理解と生徒指導の諸問題に関すること） 3 教育経営環境領域 （教育の制度・経営と教師・子どもたちの社会環境に関すること） 【ただし、派遣教員(注1)・教職経験者(注2)には筆記試験を課さない。】	1～3の3領域から1領域を選択して解答する。

専攻・コース		内 容	留 意 事 項
学 校 教 育 専 攻	臨床心理学 コース	1 外国語（英語） 2 教育相談の実践にかかわる小論文又は心理学に関する外国語（英語） 3 臨床心理学とその隣接領域 【ただし、機関長推薦により出願する者（注3）には筆記試験を課さない。】	2は教育相談の実践にかかわる小論文又は心理学に関する外国語（英語）のいずれか一つを選択して解答する。ただし、教育相談の実践にかかわる小論文を選択できる者は、初等中等教育において3年以上の教職経験を有するものとする。 辞書の持込みは認めない。
	幼 児 教 育 コース	幼児教育の基礎にかかわる小論文（幼児教育、あるいはそれを含む教育全般にかかわる基礎的内容） 【ただし、派遣教員（注1）・教職経験者（注2）・機関長推薦により出願する者（注3）には筆記試験を課さない。】	2題から1題を選択し、1,200字以内で解答する。
	特別支援 教育コース	特別支援教育の基礎にかかわる小論文（特別支援教育、あるいはそれを含む教育全般にかかわる基礎的内容） 【ただし、派遣教員（注1）・教職経験者（注2）には筆記試験を課さない。】	
教 科 ・ 領 域 教 育 専 攻	言 語 系 コ ー ス	国 語 国語科教育、国語学、国文学、書写書道の科目 【ただし、派遣教員（注1）・教職経験者（注2）・機関長推薦により出願する者（注3）には筆記試験を課さない。】	国 語 4科目から1科目を選択して解答する。
		英 語 英語の読解力を問う問題 【ただし、派遣教員（注1）・教職経験者（注2）には筆記試験を課さない。】	英 語 辞書の持込みは認めない。
	社 会 系 コ ー ス	地理学、歴史学、法律学、経済学、宗教学、社会科教育の科目 【ただし、派遣教員（注1）・教職経験者（注2）には筆記試験を課さない。】	6科目にかかわる全問題の中から自由に2問を選択して解答する。同じ科目から2問を選択することもできる。
	自 然 系 コ ー ス	数 学 数学科教育（算数・数学科教育に関する教育実践、外国語（英語）を含む）、数学（線形代数、微分積分、代数学、幾何学、解析学）の科目 【ただし、派遣教員（注1）・教職経験者（注2）には筆記試験を課さない。】	数 学 数学科教育と数学の科目から数題を選んで解答する。外国語（英語）は辞書※の持込みを認める。 ※ 辞書は語学辞書（例えば英和辞書等）1冊とし、電子辞書の使用は認めません。
理 科 理科教育学、物理学、化学、生物学、地学の内容に関する問題 【ただし、派遣教員（注1）・教職経験者（注2）・機関長推薦により出願する者（注3）には筆記試験を課さない。】		理 科 全5題から1題を選択して解答する。	

専攻・コース		内 容	留 意 事 項
教 科 ・ 領 域 教 育 専 攻	芸 術 系 コ ー ス	音 楽 音楽教育学，声楽，器楽，作曲，音楽学の5科目 【ただし，派遣教員(注1)・教職経験者(注2)・機関長推薦により出願する者(注3)には筆記試験を課さない。】	音 楽 5科目から1科目を選択して解答する。
		美 術 美術科教育(図画工作・美術)，絵画，彫刻，デザイン，工芸の内容に関する問題 【ただし，派遣教員(注1)・教職経験者(注2)・機関長推薦により出願する者(注3)には筆記試験を課さない。】	美 術 全5題から1題を選択して解答する。
	生 活 ・ 健 康 コ ー ス	保健体育 保健体育にかかわる小論文 【ただし，派遣教員(注1)・教職経験者(注2)・機関長推薦により出願する者(注3)には筆記試験を課さない。】	保健体育 1,200字程度で解答する。
		技 術 技術教育(中学校技術・家庭科技術分野の教育を含む)にかかわる小論文 【ただし，派遣教員(注1)・教職経験者(注2)・機関長推薦により出願する者(注3)には筆記試験を課さない。】	技 術 1,200字程度で解答する。
	家 庭 家庭科教育，家庭科に関する教育実践，生活経営学(家族や福祉に関する内容)，児童学，食物学，被服学の科目 【ただし，派遣教員(注1)・教職経験者(注2)・機関長推薦により出願する者(注3)には筆記試験を課さない。】	家 庭 左のいずれか1つ(1題)を選択して解答する。	
	学校ヘルスケア 健康教育にかかわる小論文 【ただし，派遣教員(注1)・教職経験者(注2)・機関長推薦により出願する者(注3)には筆記試験を課さない。】	学校ヘルスケア 1,200字程度で解答する。	

専門職学位課程 (教職大学院)

専攻・コース		内 容	留 意 事 項
教 育 実 践 高 度 化 専 攻	教育実践リーダーコース	「教育実践」に関する小論文 【ただし，派遣教員(注1)・教職経験者(注2)には筆記試験を課さない。】	次の2領域から1領域の問題を選択し，1,200字程度で解答する。 ・ 学習指導領域 ・ 生徒指導領域※ ※ 「生徒指導領域」とは，学級経営，道徳教育，生徒指導・教育相談，心の教育，キャリア教育など，広義の生徒指導を示します。
	学校運営リーダーコース	筆記試験を課さない。	

(注1) 「派遣教員」とは，所属する都道府県教育委員会又は政令指定都市教育委員会から現職のまま「同意」を受け出願する者をいいます。

- (注2) 「教職経験者」とは、初等中等教育における3年以上（平成25年4月1日現在）の教職経験を有する者をいいます。なお、教職経験については次の期間を含みます。
 ア 非常勤の職については、勤務形態が常勤の職員と同等である期間
 イ 幼児教育コースにおいては、保育所（無認可のものを除く。）の保育士として勤務した期間
 ウ 特別支援教育コースにおいては、施設・医療機関・教育訓練機関等において障害児・者に関わる支援・指導等に職員（勤務形態が常勤の職員と同等である非常勤の職を含む。）として従事した期間
- (注3) 「機関長推薦により出願する者」とは、17ページの「機関長（学長又は学部長等）の推薦を受け出願する者に対する筆記試験免除制度」により出願する者をいいます。
- (注4) 学校臨床研究コース（生徒指導総合・学校心理）の試験区分で受験し合格した者は、入学後に希望に基づき生徒指導総合又は学校心理のいずれかに所属することになります。なお、筆記試験で解答する領域は、必ずしも入学後の所属と一致している必要はありません。

(2) 口述試験

課 程	内 容	留 意 事 項
修 士 課 程	<p>主としてコースにかかわる専門分野についての研究内容とこれに関連した教育活動、入学後の研究課題及び研究計画等について研究希望等調書を参考にして試問する。</p> <p>なお、筆記試験を課さない派遣教員・教職経験者には研究計画書も参考にし、機関長推薦により出願をする者には機関長推薦書及び志望理由書も参考にしして試問する。</p> <p>ただし、芸術系コース(音楽)の「声楽」、「器楽」、「作曲」を受験する者は、上記に加え、次の内容も課します。(「声楽」、「器楽」は伴奏者の同伴も可)</p> <p>①声楽：任意の曲を1曲、暗譜で歌う。 ②器楽：任意の曲を1曲演奏する。反復は省略。伴奏の有無及び暗譜・視奏は自由。 ③作曲：出願の際に提出した楽譜について、口述試験の中で試問する。</p>	<p>芸術系コース(美術)を受験する者は、①作品(本人の最近作2点以上)と②論文等(研究論文や美術教育の実践に関する研究資料)の両方又はいずれか一つを持参すること。作品は本人が1人で持ち運べる範囲の実物、あるいは、2L判サイズ以上の作品写真のファイル等とする。</p> <p>なお、大学あての郵送・運送等は認めない。</p>
専門職学位課程 (教職大学院)	<p>主としてこれまでの教育実践及び入学後に取り組みたい実践的課題等について、入学希望等調書を参考にして試問する。</p> <p>なお、筆記試験を課さない者には、出願コースにかかわる専門分野(教育実践リーダーコースにおいては学習指導領域及び生徒指導領域、学校運営リーダーコースにおいては教育課程・教務領域及び学年・組織運営領域)に関する知識についても試問する。</p>	

(出典：平成25年度大学院学校教育研究科学生募集要項(pp.10-14))